様式１：小学校

令和７年度　高知県　英語教育改善プラン

目標

言語活動の充実を目指した授業づくりと学習評価の改善

☑ 言語活動　☑ 指導と評価の一体化（パフォーマンステスト含む）　☐ 教師の英語力・指導力（専科教員含む）　☑ 校種間連携　☐ALTの参画　☐ ICTの活用（AIを除く）　☐ AIの活用　☐ その他

１．目標に対する現状

改善が進んだ点

①「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況に改善が見られる。
（参考：【設定】R5:85.4%、【把握】R5:73.5%）

②授業でICT機器を用いて発話や発音などを録音・録画することについて、改善がみられる。
（参考：R5:78.4%）

未だ改善が必要な点

❶「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の公表については、課題が見られる。
（参考：R5:42.2%）

❷授業における、児童の英語による言語活動の割合については、高い値にあるものの、質の向上を図る必要がある。
（参考：R5:90.9%）

２．要因分析

①②県主催の授業づくり講座や小・中・高合同授業研究会において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を明記した単元計画や指導案をもとに、指導と評価の一体化について協働的に学び合ったり、ICT機器を効果的に活用した実践を参観することで、参加者の学びとなり、推進につながったものと考えられる。

❶「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を教員と児童の間で共有されていない学校が多く、指導と評価の一体化の観点から、その活用意義や効果等について広く周知できていないことが要因と考えられる。

❷訪問指導等において、言語活動を設定しているものの、児童の気付きを促すような指導や、ステップアップのための活動が設定されていない学校が見られることから、「言語活動を通した」指導についての理解が十分ではないと考えられる。

３．目標を達成するための施策・事業

❶❷

【小・中・高連携の推進】

小・中・高等学校における一貫した英語によるコミュニケーション能力を育成するため、「話すこと〔やり取り〕」の領域による授業研究会を行い、発達段階に応じた指導の在り方や、「CAN-DOリスト」を活用した実践等を発信する。

➢小・中・高の学びをつなぐ「CAN-DOリスト」の活用促進

【目標・指導・評価の一体化が図られた授業づくりの推進】

県全体の指導力向上のために、研究拠点校４校において「話すこと［やり取り］」の領域による「英語授業研究会」を開催し、言語活動や学習評価の充実を図るための方策を発信する。

Discover Kochi Project（小学校編動画）→

【身に付けた英語力を発揮する場の設定】

「Discover Kochi Project」の実施

英語で自分の考えや意見を発信することができる人材を育成するため、やり取り（質疑応答）を含むポスターセッションを行うことで、生徒の英語力の向上及び教員の指導力向上を図る。

➢ポスターセッションの様子を収録した動画を発信し、取組を普及

◇一定の英語力を有する小学校教師の新規採用に係る取組◇

英語力を有する小学校教師を採用するため、教員採用候補者選考審査において、中学校教諭「英語」の普通免許状を有する者や、英検等の資格保有者を加点対象とし、英語力を有する受審者の受審拡大を図っている。

また、教員採用説明会等において、加点制度の説明や特別免許状等を活用した積極的な採用についての説明など、英語力を有する小学校教師の人材確保についての広報・周知を行う。

様式１：中学校

令和７年度　高知県　英語教育改善プラン

目標

言語活動の充実を目指した授業づくりと学習評価の改善

〇CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合（R6：47.2％⇒R7：50.0％）

☑ 言語活動　☑ 指導と評価の一体化（パフォーマンステスト含む）　☐ 教師の英語力・指導力　☑ 校種間連携　☐ALTの参画　☐ ICTの活用（AIを除く）　☐ AIの活用　☐ その他

１．目標に対する現状

改善が進んだ点

①英語教育に関する小中連携の実施について、改善が見られる。（参考：R5:83.3%）

②「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の公表について、改善が見られる。（参考：R5:60.4%）

③生徒の英語力について、改善が見られる。（R5:39.1%⇒R6:47.2%）

未だ改善が必要な点

❶多くの学校がスピーキングとライティングの両方のパフォーマンステストを実施している（参考：R5:95.4%）ものの、CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合は国の目標値を下回っており（R6:47.2%）、生徒の英語力の向上につながっていない。

❷授業における生徒の英語による言語活動の割合は、全国平均と同程度に達している（参考：R5:76.3%）ものの、R5全国学力・学習状況調査の結果から、文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くこと及び話すことに課題が見られる。

２．要因分析

①②県主催の事業において、小中連携の取組や、生徒と単元目標を共有する実践を発信することで、改善したと考えられる。

③英検IBAによるアセスメントを実施したことで、生徒の英語力を把握し、結果を踏まえた授業改善が進んだものと思われる。

❶付けたい資質・能力を明確にした指導と、その指導の成果を適切に測るパフォーマンステストの実施が十分でないため、生徒の学力に結びついていないことが要因と考えられる。

❷指導と評価の一体化が十分図られておらず、生徒が身につけるべき資質・能力が身につかないままパフォーマンステストを行っているため、生徒が達成感を十分感じることができず、英語力向上につながっていないと考えられる。

３．目標を達成するための施策・事業

①**【小・中・高連携の推進】**

小・中・高等学校における一貫した英語によるコミュニケーション能力を育成するため、「話すこと〔やり取り〕」の領域による授業研究会を行う。

例）午前・・小　午後・・中・高　公開授業

➢小・中・高の学びをつなぐ「CAN-DOリスト」の活用促進

❶❷

【目標・指導・評価の一体化が図られた授業づくりの推進】

1）県全体の指導力向上のために、研究拠点校４校で「書くこと」の領域による「英語授業研究会」、研究協力校４校で「話すこと［やり取り］」の領域による「中学校英語授業づくりセミナー」を開催し、言語活動や学習評価の充実を図るための方策を発信する。

2）指導と評価の質の向上に向けて、英語科教員研修（学校悉皆）を行い、各種調査から見られた課題に対する授業改善の方策について協議する。また、同一タスクによる単元計画を作成し、自校で実践後、研究協議の内容と、当該単元に関わるパフォーマンステストの結果分析を事後課題としてレポートする。

➢指導主事による学校訪問を行って進捗状況を把握し、取組に対する指導助言を行う。

【身に付けた英語力を発揮する場の設定】

「Discover Kochi Project」の実施

英語で自分の考えや意見を発信することができる人材を育成するため、やり取り（質疑応答）を含むポスターセッションを行うことで、生徒の英語力の向上及び教員の指導力向上を図る。

➢ポスターセッションの様子を収録した動画を発信し、取組を普及

Discover Kochi Project（中学校編動画）→

様式１：高等学校

令和７年度　高知県　英語教育改善プラン

目標

言語活動の充実を目指した授業づくりと学習評価の改善

○CEFR A2/B1レベル相当以上の英語力を取得又は有すると思われる生徒の割合

（R6： A2以上　45.0％、B1以上　12.3％ ⇒R7： A2以上　46.0％以上、B1以上　16.0％ ）

☑ 言語活動　☑ 指導と評価の一体化（パフォーマンステスト含む）　☐ 教師の英語力・指導力　☑ 校種間連携　☐ ALTの参画　☑ ICTの活用（AIを除く）　☐ AIの活用　☐ その他

１．目標に対する現状

改善が進んだ点

①CEFR A2レベル（英検準２級)相当以上を実際に取得している生徒及び相当の英語力を有すると思われる生徒の割合が増加した。
（R5:41.8%⇒R6:45.0%）

②主に発表や話すことにおけるやり取りをする場面、キーボード等で書く場面等において、特に生徒がICTを活用することが定着している。
（それぞれ100%、96.7%）

未だ改善が必要な点

❶多くの学校で、スピーキングとライティング両方のパフォーマンステストを実施しており（R６:91.1%)、評価の機会は確保されているものの、そのことが、生徒の英語力の向上につながっていない。

❷授業における生徒の英語による言語活動時間の割合は、増加傾向にあるものの、量とともに質の向上が必要である。

２．要因分析

①高知県独自調査における各校からの記述より、生徒自身の学習に対する意欲の向上が見られる学校が出てきている。また、生徒の英語力を適切に測ろうとする意識が高まっている。

②令和６年度より高等学校課に教育DX推進室を設置し、ICT授業アドバイザーが指導主事の学校訪問に同行し、ICTを活用した授業づくりを助言したことで、実際に活用する学校の割合が増加した。

❶評価の機会は確保されたが、授業内において生徒の英語力を育む言語活動がまだ十分に行われていない。

❷正確さの定着を重視するあまり、文法事項を確認する演習にあてる割合が多くなっている可能性がある。また、活動を重視するあまり、活動が目的化している可能性がある。

３．目標を達成するための施策・事業

❶❷【目標・指導・評価の一体化が図られた授業づくりの推進】

○小・中・高連携の推進

小・中・高等学校における一貫した英語によるコミュニケーション能力を育成するため、「話すこと〔やり取り〕」の領域による授業研究会を行う。

○英語指導力向上事業及び各教科等研究協議会

教員のニーズに応じたテーマの協議会を開催する。また、各校の事例や取組を共有する場面を設定する。(Ｒ６のテーマ：「『高知県英語教育推進のためのガイドライン』の要点」「アセスメント・サイクルを意識した単元デザイン」)

また、授業実践シートを活用し、各校で設定しているCAN-DO リスト形式による学習到達目標、単元の指導、評価が一貫したものとなっているか、確認する。

○各校への学校訪問の際の助言・指導

年間２回程度の訪問を通じて、各教員が作成する授業実践シートを基に授業への指導を行う。
（ICTの効果的な活用含む）

『高知県英語教育推進のためのガイドライン（第２次改訂版）』→

❶❷【生徒達が身に付けた英語力を発揮する場の設定】

「Discover Kochi Project」「こうち未来創造グローバル人材育成事業（官民協働海外留学支援制度）」「イングリッシュデイ」等の実施により、英語で自分の考えや意見を発信するだけでなく、日本（高知県）と海外との違いやつながりを体感・探究し、多様性や共通性等を認識する。

Discover Kochi Project（高等学校編動画）→

官民協働海外留学支援制度→

目標達成状況一覧表

令和7年度様式（様式2）

高知県教育委員会

校種	指標内容		2023 目標値	2023 達成値	2024 目標値	2024 達成値	2025 目標値	2025 達成値	2026 目標値	2026 達成値	2027 目標値	2027 達成値
高等学校	①CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（%）		50	41.8	44	45.0	46		48		50	
	①CEFR B1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（%）		20	11.2	14	12.3	16		18		20	
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（%）		75	46.3	60	51.2	65		70		75	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（%）		100	85.5	87	91.1	90		95		100	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（%）	100	100	100		100		100		100	
		公表（%）	100	88.9	100		100		100		100	
		達成状況の把握（%）	100	88.9	100		100		100		100	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（%）		80	85.5	87	82.1	88		89		90	
	⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（%）		75	41.6	60	40.5	65		70		75	

校種	指標内容		2023 目標値	2023 達成値	2024 目標値	2024 達成値	2025 目標値	2025 達成値	2026 目標値	2026 達成値	2027 目標値	2027 達成値
中学校	①CEFR A1レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合（%）		41	39.1	43	47.2	50		52		55	
	②授業における、生徒の英語による言語活動の割合（%）		80	76.3	79		81		83		85	
	③スピーキングテストとライティングテストの両方を実施した割合（%）		100	95.4	95		96		98		100	
	④「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（%）	100	100	100		100		100		100	
		公表（%）	100	60.4	65		70		75		80	
		達成状況の把握（%）	100	85.4	87		90		93		95	
	⑤CEFR B2レベル相当以上の英語力を有する英語担当教員の割合（%）		50	37.9	41	35.1	44		47		50	
	⑥英語担当教員の授業における英語使用状況（%）		100	73.1	76		80		83		85	

校種	指標内容		2023 目標値	2023 達成値	2024 目標値	2024 達成値	2025 目標値	2025 達成値	2026 目標値	2026 達成値	2027 目標値	2027 達成値
小学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の整備状況	設定（%）	100	85.4	88		91		94		100	
		公表（%）	100	42.2	47		51		55		60	
		達成状況の把握（%）	100	73.5	75		77		79		80	